

Title	Gallia 56号 報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 56 p.114-p.115
Issue Date	2017-03-04
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69837
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

報 告

講義題目 (2016 年度)

- 和田 章男 教授 (講) プルーストと文学・絵画・音楽 (共通)
 (講) 名作でたどるフランス文学の歴史—テーマ別文学史の試み
 (山上教授と共同、学部)
 (演) ミシェル・レリス『成熟の年齢』を読む (学部・修士)
 (演) プルースト『ゲルマントの方』研究 (大学院)
- 山上 浩嗣 教授 (演) デイドロ『サロン評』を読む (学部・修士)
 (講) パスカル『パンセ』を読む (共通)
 (演) 『ポール＝ロワイヤル論理学』を読む (大学院)
- Éric Avocat 特任准教授 (演) Exercices pratiques (学部)
 (講) Une grande pièce du théâtre français : Beaumarchais,
Le Mariage de Figaro (1 学期) (学部・修士)
 (講) La France du 18^e siècle, en film et en textes (2 学期)
 (学部・修士)
 (講) Rhétorique et art de parler en France (17^e-21^e siècles)
 (大学院)
 (演) Techniques de la dissertation et du commentaire (大学院)
- 金崎 春幸 教授 (講) フランス文学における方言 (共通)
- 春木 仁孝 教授 (講) フランス語史の諸問題 (共通)
- 小倉 孝誠 講師 (講) 近代フランス文学を文化史的に読み解く (集中講義) (共通)

卒業論文 (2015 年度)

ラ・フォンテーヌの『寓話』におけるロバの役割

土 師 伊久美

デイドロの美術・絵画思想における衣服の機能とその射程

野 田 真 生

日本フランス語フランス文学会研究発表

2016 年 10 月 22 日 (土)・10 月 23 日 (日) (全国秋季大会、於東北大学)

・共和主義詩人としてのヴェルレーヌ — 初期作品を中心に

山 本 健 二

・近代兵器と道 — マルロー『王道』に見る西欧の肖像

井 上 俊 博

- ・ラフカディオ・ハーンとフランス（ワークショップ）

濱 田 明

2015 年 11 月 26 日（土）（関西支部大会、於大阪大学）

- ・パスカルとアルノーの好奇心観比較

川 上 紘 史

大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第 78 回研究会 2015 年 10 月 1 日（土）（於大阪大学文学部棟 2 階大会議室）

- ・バルザックにおける人物の社会化モデルの変遷

岩 村 和 泉

- ・アンドレ・ジッドの日記体小説—「物」としての日記について

小 坂 美 樹

司会：山 崎 恭 宏

- ・ Le parcours des hommes d'argent du 18^e siècle à la Révolution, vu du théâtre : une comédie (in) humaine

Éric Avocat

司会：Christophe Garrabet

第 80 回研究会 2017 年 3 月 4 日（土）（於大阪大学文学部棟 2 階大会議室）

金崎春幸教授、春木仁孝教授退職記念講演

- ・フローベールにおけるインドの神々

金 崎 春 幸

司会：北 村 卓

- ・ Ça sent bon la mer ! 「海のいい匂いがする」—ça を主語に取る構文について—

春 木 仁 孝

司会：井 元 秀 剛